2 快適な暮らしのために知っておきたいこと

結露・カビ対策

結露を防ごう

留意

「**結露（けつろ）**」とは、室内の暖かい空気の中に含まれる水分が、冷たいコンクリートやガラス、金属部に触れることで急激に冷え、天井や壁、床の表面や窓ガラスなどに水滴が生じる現象です。結露は、建物を傷めたりして住環境を損なう原因になりやすく、カビやダニの大量発生により健康を害する恐れもあります。結露を防ぐためには、室内での**水蒸気の発生**を抑え、十分に**換気**をしてください。特に冬期は、暖房などにより外気温と室温との差が大きく、結露が発生しやすくなります。換気を十分に行い、住戸内で著しい温度差が生じないように、各部屋の暖房をご調整ください。

※結露に起因する補修は、有償対応になりますのであらかじめご了承ください。

居室内での対策

- 室内に洗濯物を干すと、湿度が上昇し結露の原因になります。換気扇・除湿機・エアコン（ドライ）などを使用して湿気を取り除いてください。浴室乾燥機がある場合は、洗濯物を浴室内で乾燥させてください。
- 壁に家具を密着させて置いていると、通気が悪くなり、裏に**カビが発生**する恐れがあります。壁面より10cm程度離して置き、通気を良くしてください。特に外壁に面した場所は気温差が激しいため、一層の注意が必要です。
- **24時間換気システム**は常時作動させてください。また、台風などの強風の日以外は、**給気口**は常に開けたままにしてください。
- 天気の良い日は、窓を開け、通気を良くするようお願いします。
- 鍋物を召し上がる際は、必ず換気扇を回し、湿気がこもらないようにご注意ください。
- 入浴や食事の後（就寝前）に換気すると有効です。

暖房器具使用時の対策

- 石油やガスといった石化燃料を使用するストーブやファンヒーターなどは、燃焼時に水蒸気が発生し、結露につながることがあります。安全のため、また結露防止のために**換気**を心がけてください。
- 定期的に窓を開けるなど、換気を十分に行ってください。
- エアコンの**ドライ運転**や**除湿機**を使って、湿気を除去してください。
- 加湿器をご使用の際は、**加湿過多**にならないようにご注意ください。

浴室での対策

- 湿気が他の部屋に流れ込まないように、ドアは必ず**閉めて**ください。
- 入浴後は換気扇を回し、十分に**換気**してください。

キッチンでの対策

- ガスコンロなどを使用して調理を行う際は、必ず**換気扇**を回し、湿気がこもらないようにご注意ください。